



【初回放送日 2020年2月21日（金）】
みなみの考え
「あいつ、変じゃね」って変じゃね？
～悪口をなくすヒント～



悪口のないクラスを作るため、
普段から一人ひとりができることってある？

高橋さん

パッて出ちゃうのかもしれないんですけど、「変じゃね？」って言いそうになっているのを一回飲み込んで。今「変じゃね？」って言おうとしているけど、本当に言っている言葉なのかな？本当に相手は変なのか？さっきの授業にあったみたいに、自分の中に変はないのか？…ってちょっと考えると、出る言葉の速度が遅くなると思うんですよ。

言葉にすぐ出す前に、その言おうとしている言葉と、まず自分が向き合った方がいいと思います。

中には、誰かを“変”とすることで、
仲間意識を作ろうとするケースもあるみたいだけど・・・。



高橋さん

「誰かを下げて、みんなで上がる」ということではない」というのを教えてあげたいですね。

「あいつのことみんな変だと思ってるから、あいつ以外はみんな友達だ」みたいな考え方も違うんだよ」と、言ってあげなきゃいけないですよ。



そういう大切なことを学ぶために、VTR では「自分の変」と向き合ったね。

高橋さん

本当にいい授業だなんて。先生がその(授業の)タイミングを見ていたっていうことが大事なのかな。たぶんクラスができてすぐこの授業をしていたら、またちょっとみんなから出てくる言葉も、「まだちょっと言えない」という部分もあったかもしれない。先生の感覚として、このタイミングでやったら、もしかしたらみんなが理解し合えるかもしれない、もっと深まるかもしれない、仲良しになれるかもしれないっていう……。

(もし、「自分の変」を)言えない子がいたら、どうすればいい?)

何でもやっぱり無理やりは違うとは思いますが。それこそやっぱり委ねるといっつか、彼女、彼らが言いたいタイミングならば言葉にさせてあげるべきだと思いますし、それがもし、質問に対して白紙だったら、それはそれでいいと思うんですよね。

無理くり「じゃあ“自分の変”を発表しなさい」は、ちょっと違うかなって。それこそやっぱり彼女、彼ら一人ひとりのタイミングがあると思うし、みんなの前で言えること、自分の友達にだけ言えること、逆に言えば、自分の友達じゃない人だけに言える子がいると思うので。

そのタイミングって、どうすれば分かるかな?



高橋さん

たぶん先生が一番分かると思う。そのクラスにいて、見続けて、ちゃんと接し続けた先生だけが感じられる空気だとは思いますがね。今だなんていう。

まさにあの先生は、今なら分かってもらえるかもしれない、考えるタイミングかもしれないっていうのは、きっと向き合い続けている方だからだと思うので。

そこはやっぱり、うん、彼女、彼らに任せてあげてほしいなとは思いますが。